

About

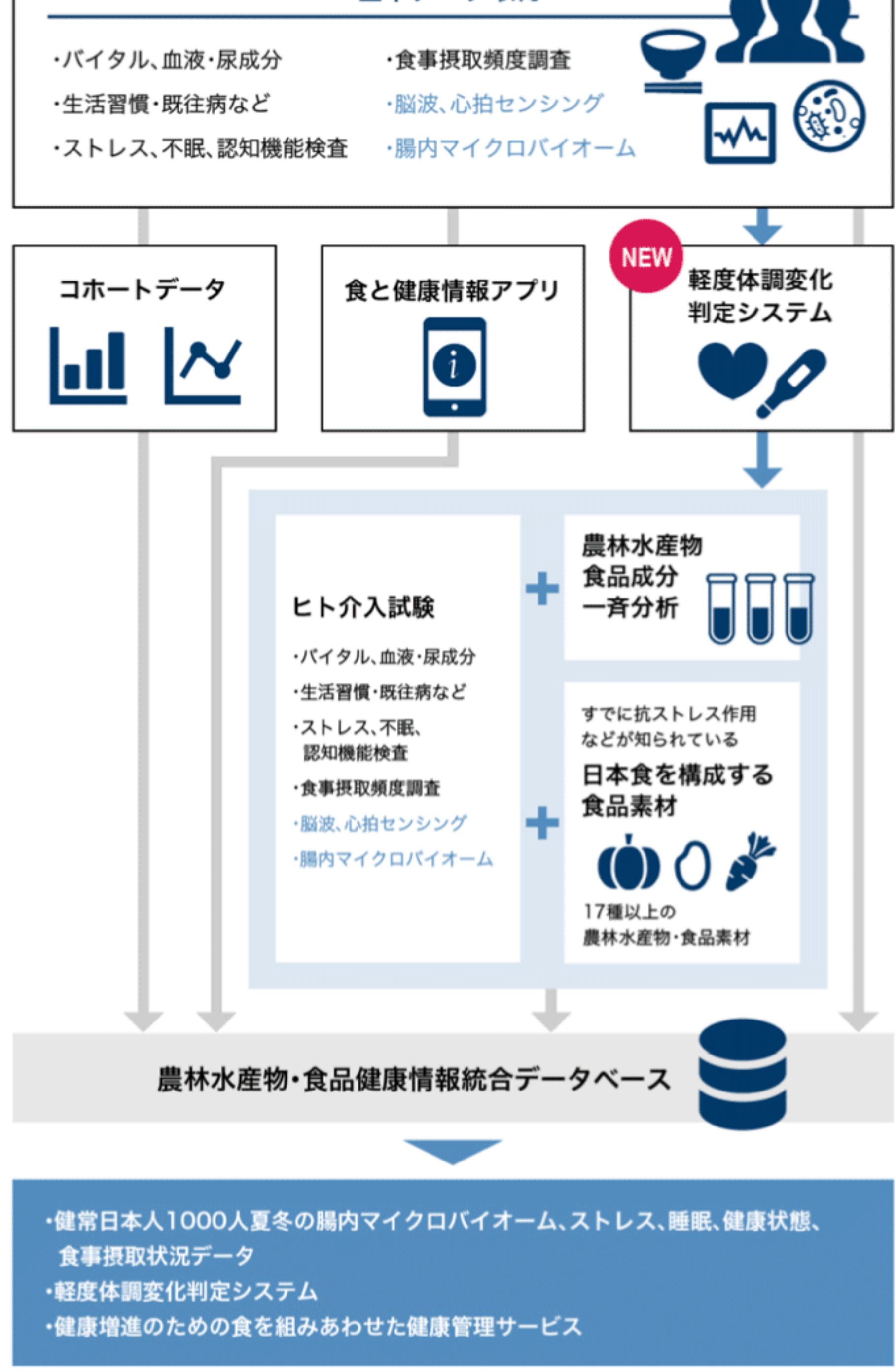
事業について

事業概要 事業構成員 事業内容 事業成果

食を通じた健康システムの確立による健康寿命の延伸への貢献

研究代表機関:国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
研究責任者:山本(前田)万里

超高齢化社会を迎えた日本では、労働力が減少する中、質の悪い睡眠、ストレス、腸内環境の乱れ、食生活の乱れから引き起こされる軽度不調（生産性低下を招く心身不調）が社会問題となっています。このような問題を解決するため、本件研究課題では健康人1000人による日本人に特徴的な「食・腸内マイクロバイオーーム・健康情報統合データベース構築に向けた網羅的研究調査（すこやか健康調査）」を行うことで、軽度体調評価と改善に関わる、メカニズムの解明と高付加価値機能性農産物、食品の創造を目指します。また、食を通じた国民の健康寿命延伸に寄与するとともに、生産性の向上に貢献いたします。



事業構成員

- 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、学校法人電子開発学術北海道情報大学、国立大学法人京都大学、国立大学法人宮崎大学、長崎県立大学法人長崎県立大学、国立大学法人九州大学、北海道公立大学法人札幌医科大学
- 国立大学法人東北大学、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所、国立研究開発法人理化学研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立遺伝学研究所、長崎県工業技術センター、一般社団法人セルフケアアワード協議会、一般社団法人日本マイクロバイオーームコンソーシアム、一般社団法人日本食品分析センター、アサヒオリティードアンドイノベーションズ(株)、カゴメ(株)、キリンホールディングス(株)、月桂冠(株)、ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)、サントリーホールディングス(株)、(株)島津製作所、大正製薬(株)、(株)日清製粉グループ本社、(株)明治、(株)ちとせ研究所、大塚製薬(株)、バイオフェルミン製薬(株)、江崎グリコ(株)、三麗ヤカミカル(株)、(株)DNAチップ研究所、田辺三菱製薬(株)、P G V(株)
- TOTO(株)、(株)リンクアンドコミュニケーション、(株)ローション、(株)メディカルフロント、(株)フローウィング、NxtQOLコネクト(株)

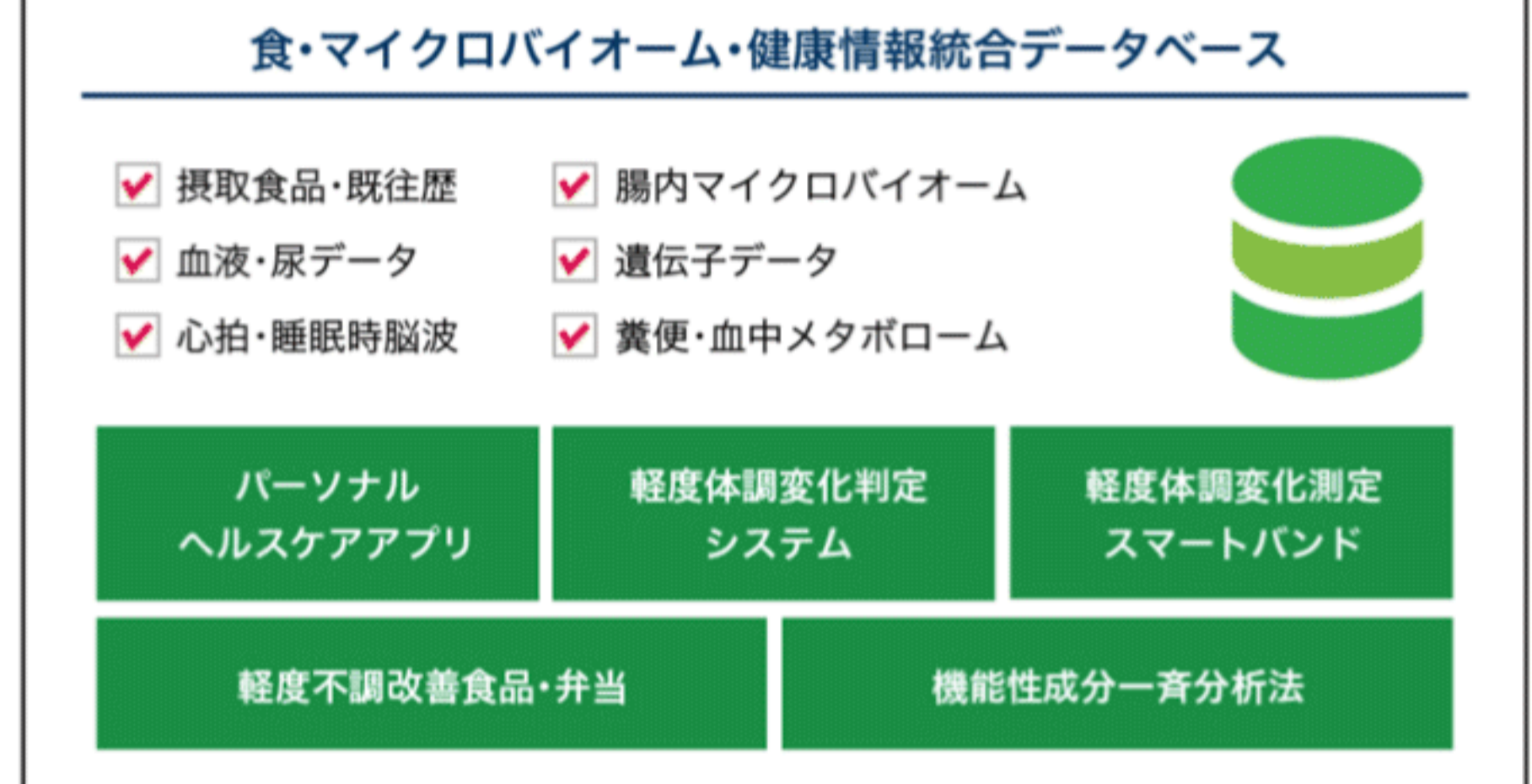
事業内容

イノベーション推進プログラムについて	戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)は、総合科学技術・イノベーション会議が司令塔機能を発揮し、府省の枠を超え、基礎研究から実用化・事業化まで一気通貫で研究開発を推進し、イノベーションの実現を目指すプログラムです。
スマートバイオ産業・農業基盤技術について	我が国のバイオエコノミーの拡大と関連産業の競争力強化等のため、府省連携により、バイオとデジタルの融合によるイノベーションの基盤を構築し、「食」による健康増進社会の実現や革新的なバイオ素材・製品産業の振興・創出を図ります。また、「食」を生産する農業においては、生産から加工・流通・販売・消費・輸出までデータを相互活用するスマートフードチェーンの構築や様々なデータにより駆動する革新的なスマート農業技術・システムの開発、データ駆動型育種を推進するための技術開発等を実施します。基礎研究から実用化・事業化まで一気通貫の取組を通じ、持続可能な成長社会の実現や農林水産業・食品産業の生産性革命・競争力強化を目指します。 【詳細はこちら】 食品研究部門HPのヘルスケア創出特命プロジェクト 「食を通じた健康システムの確立による健康寿命の延伸への貢献」 生研支援センターのSIP第2期ページ「研究開発計画における内容」 4.多様なニーズへの対応 「健康寿命の延伸を図る「食」を通じた新たな健康システムの確立」

事業成果



食による健康増進社会の実現

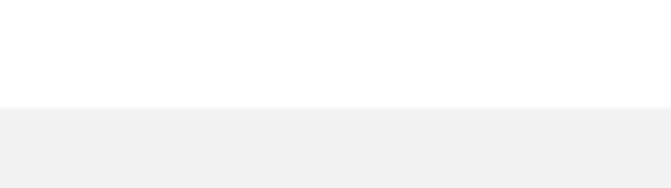


社会実装例①

軽度体調変化判定システムを活用したビジネス展開	
軽度不調改善食品・弁当	
事業主体	コンソ内企業、中食販売業者(協力機関)
事業内容	機能性表示届出・上市、流通・販売
ビジネスモデル	BtoC販売モデル
生まれる価値	セルフケアの促進、労働生産性向上
軽度体調変化判定	
事業主体	社団法人、パーソナルケア商品企業、地方自治体
事業内容	デバイスを活用した食と健康管理サービス提供
ビジネスモデル	BtoC、GtoC、サブスクリプションモデル、フリーミアムモデル、マッチングモデル
生まれる価値	セルフケアの促進、健康寿命の延伸、医療費削減
健康人食・健康情報	
事業主体	データ解析企業
事業内容	新規食品開発のためのデータ解析
ビジネスモデル	BtoB販売モデル
生まれる価値	臨床試験のスピード・精度アップ
機能性成分一斉分散法	
事業主体	分析サービス企業
事業内容	分析サービス提供
ビジネスモデル	BtoB、BtoC販売モデル
生まれる価値	新規機能性食料・農産物創出、地域創生

社会実装例②

日本人腸内マイクロバイオーームデータの公開	
健康日本人マイクロバイオーームデータ	
事業主体	食品企業、製薬企業、検査・診断メーカー
事業内容	機能性食品開発、医薬品開発、検査・診断法開発
ビジネスモデル	BtoC、BtoB、販売モデル
生まれる価値	健康寿命の延伸、セルフケアの促進



北海道情報大学 健康情報科学センター
〒069-8585 北海道江別市西野幌59番2
↓↓ お問い合わせ ↓↓

